

産業カウンセラーは 出会いの宝庫

～たくさんのご縁にありがとう！～

藤田 宏明さん

会社名：某ゼネコン
役 職：総務部長
資 格：産業カウンセラー

【受講のきっかけ】

私は前職で人事部門の仕事に携わるなか、東京支部の産業カウンセラーKさんと出会ったことが受講のきっかけとなりました。Kさんは産業カウンセラーとして独立開業し、研修講師や企業・学校の相談員、養成講座の実技指導者として活躍されていました。偶然受講したメンタルヘルス研修の講師がKさんであり、その柔らかい語り口や人間的な魅力に私は惹かれ、その後、自社の相談員をお願いするまでに至りました。「職業としての産業カウンセラー」と仕事をともにするなかで、私も産業カウンセラーのことを学びたいと強く思ったのです。私にとってKさんにご縁をもてたことはラッキーでした。

2017年11月から1年間、つくばの教室で養成講座を受講しました。開講当初は緊張した空気が漂い、受講者同士の関係にぎこちなさを感じましたが、次第に信頼で結ばれるようになり、安心して学べる教室に変わっていきました。傾聴は相手を知ると同時に、自分自身を知ることであり、この自己理解の深まりから成長が感じられます。当時ともに学んだ10人の仲間は私のかけがえのない宝であり、出会いに感謝しています。

【資格取得後の活動状況】

2020年9月、これまで20年超働いた福祉団体から



つくば教室の仲間とのWEBミーティング（筆者は上段中央）

ゼネコンに転職をしました。キャリアチェンジを決断し実行できたのは、産業カウンセラーの学びを通して自分を深く見つめ、「私らしい人生とはなんぞや」を模索できたからです。現在の会社では、総務部門で社員研修の実施や相談・面談体制の構築など、元気な組織づくりにメンバーと汗を流しています。

また、時を同じく産業カウンセラー養成講座の実技指導者修習生育成研修に参加し、実技指導者をめざしています。つくば教室で学んだ当時、実技指導者がおっしゃった「教えることが一番の学び」という言葉に惹かれ、さらには教室での学びを通じて多くの人とつながっていきたいという思いがあったからです。育成研修では、全国の同志と切磋琢磨し、学び合える貴重な時間を過ごしています。ここでも新しい出会いが生まれ、高め合う仲間ができました。ありがたい気持ちでいっぱいです。

最後に、私は養成講座を受講していた当時から、クライアントをじっくり受けとめられる『器』を腹に据えたいという思いがありました。その器とは、クライアントの感情が滴り入るような穏やかで安定した心のありようを願っています。そうした深淵な『器』を身につけるため、私は産業カウンセラーの学びを続けていきます。

